

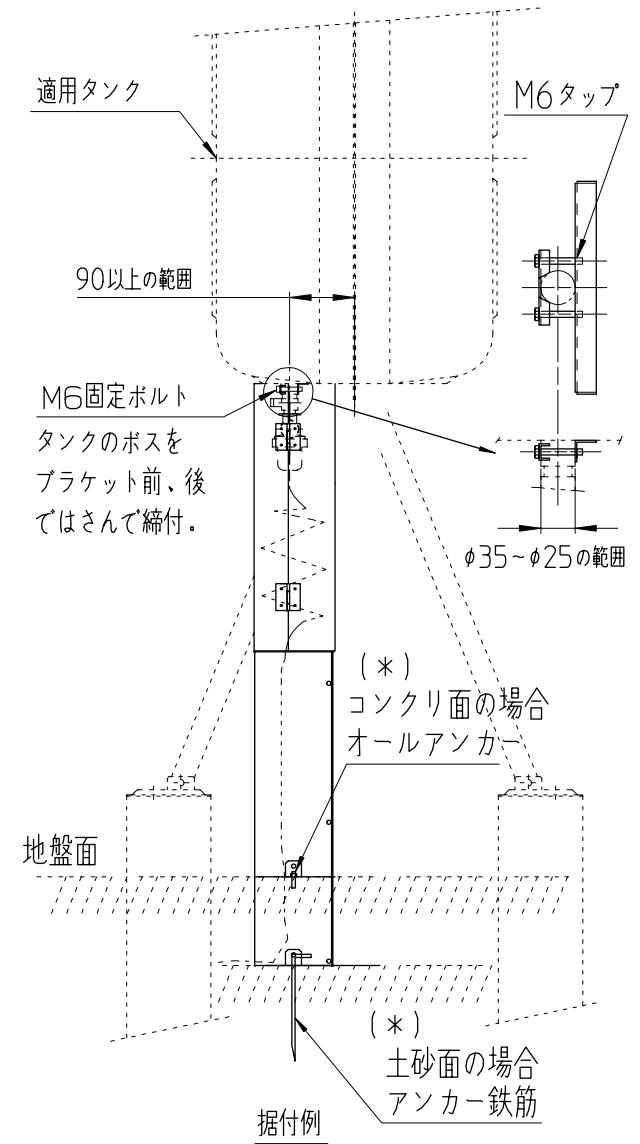
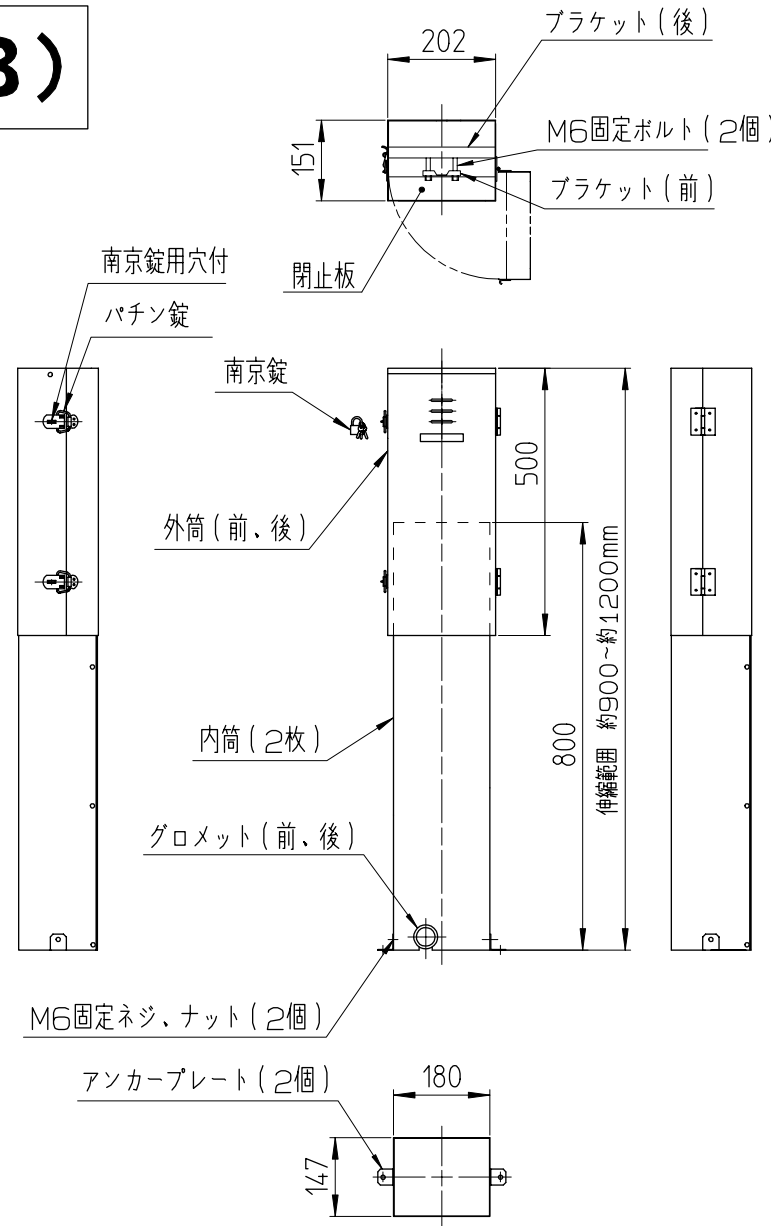
サンダイヤ オイルタンク部品 仕様書

送油管ガード (B)

型 式	500P-71II
伸縮範囲	約900~約1200mm
完成重量	約4.5kg
材 料	内筒、外筒： SUS304 t0.6
構成部品	右図参照ください
適用タンク	・KS1/2-490F、L、M ・KS1/2-500F、L、M ・地中に埋め込む場合の寸法を含めて タンクの下に900~1200mm 程度の設置高さスペースが必要です。

2. 南京錠は上部南京錠用取付穴へ取り付けてください。

注：1. アンカーボルト又はアンカー鉄筋は別途ご購入下さい。



株式会社 **サンダイヤ**

144-0051

東京都大田区西蒲田2-9-10

電話 03-3753-8300

サンダイヤ 送油管ガード (B) 500P-71II 取扱説明書

この度は、サンダイヤ「送油管ガード」をお買い上げ頂き誠に有難うございます。ご使用になる前にこの説明書をよく読んで正しくご使用ください。尚、この説明書は仕様書と共に必ず保存してください。

安全上の注意

- 軍手などを着用して取り扱いください。誤ってケガをするおそれがあります。
- 各部のボルトやネジは確実に締めてください。ゆるいと落下するおそれがあります。
- 送油管ガードの横面に強い力を加えないでください。変形するおそれがあります。
- 送油管ガードに除雪の雪を投げかけたりしないでください。変形するおそれがあります。
- 本品は簡易的に送油管をガードするものです。故意的破壊に耐えられる構造ではありません。

■ 現場高さは適正でしょうか？

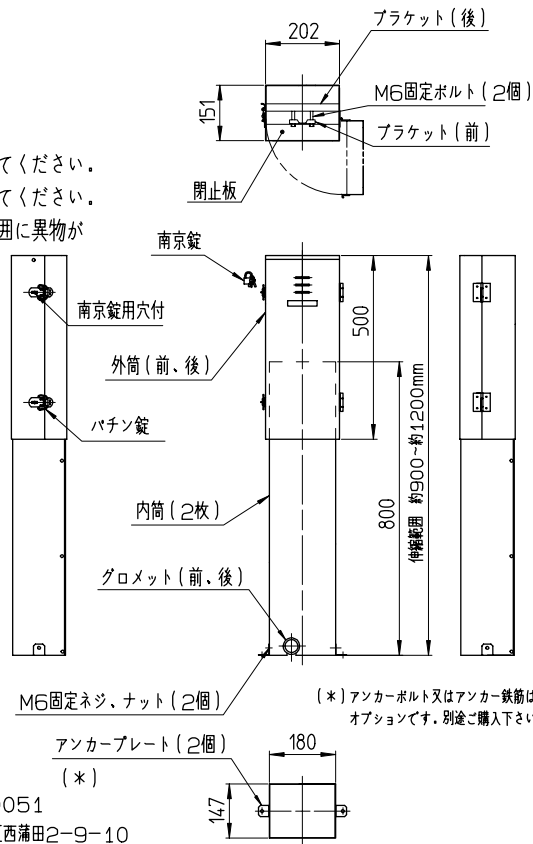
「送油管ガード」は外筒と内筒で構成されています。外筒と内筒はスライド式で、高さ調節ができますが、設置予定タンクの真下の高さが適正か必ず確認してください。土砂地盤の場合は埋込を見込んでください。

■ 日常の点検・注意

- ◎ 周囲に油漏れが無いことを点検してください。
- ◎ 「送油管ガード」の内部に異常が無いことを点検してください。
- ◎ 「送油管ガード」の各部に緩みが無いことを点検してください。
- ◎ 「送油管ガード」に無理な力が掛からないよう、周囲に異物が無いように日常の整理をしてください。

■ 仕様

型 式	500P-71 II
伸縮範囲	約900～約1200mm
完成重量	約4.5kg
材 料	内筒、外筒： SUS304 t0.6
構成部品	右図参照ください
適用タンク	KS1/2-490型、500型など ・タンクの下に900～1200mmの設置高さスペース必要。 ・ブラケット取付可能範囲のボスはφ35-φ25で長さ20以上。 ・外筒部約2kgのぶらさがり荷重に耐える十分な強度を有すること。



<注意>据付作業中は、タンクからの送油を閉止してください。

準備していただくこと

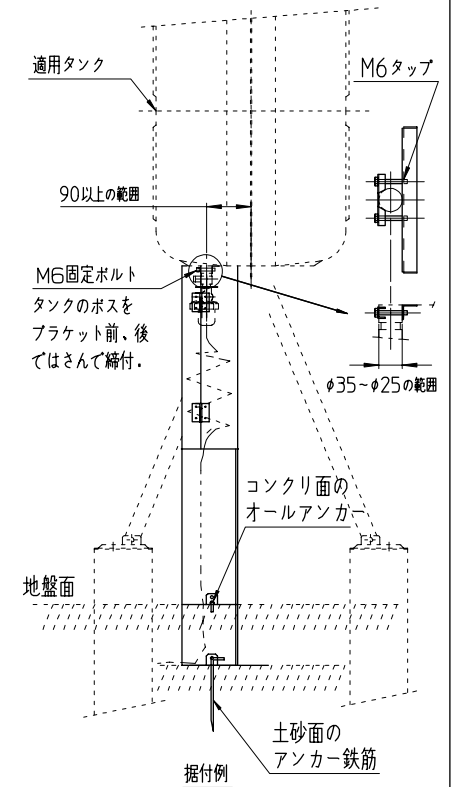
- 構成部品が揃っているか確認してください。
- タンク直下の地盤を平坦に整地してください。土砂地盤の場合は内筒保持のため、適宜掘り下げておいてください。
- 送油管がループの場合、ループ直径は内筒より小さくし、内筒位置に合わせてループしてください。
- アンカー用鉄筋やアンカーボルトはお客様でご用意下さい。

据付要領

- 内筒の片側のピスを全て外し、広げて送油管を通し、外したピスを全て留めます。
- グロメットはナイフで適宜カットを入れて、貫通送油管を保護するようはめ込んでください。
- 外筒上部にあるブラケット(前)と(後)でタンクの送油口ボスをはさみながらM6固定ボルトで締め付け、外筒で内筒を囲うようにして取り付けます。(右図)このとき内筒を適正な位置に調節してください。
- 内筒をアンカーボルト又は鉄筋などで地盤に固定してください。(土砂地盤は埋め戻し、内筒を固定してください。)
- オイルストレーナバルブを明けて送油し、油漏れや燃焼機器の異常が無いことを確認してください。
- 外筒を締めてパチン錠を留めます。
- 外筒の南京錠取付用穴(上)に南京錠を取付けて下さい。※銅管を曲げる際は折らないように注意してください。

注意事項

- 送油管を横出しする場合は、適宜φ38穴を開けてください。
- アンカーボルトは市販のM6オールアンカーを使用してください。
- アンカー鉄筋はφ6L型鉄筋などを使用してください。



株式会社 **サンダイヤ**

本 社 (＊)
〒144-0051
東京都大田区西蒲田2-9-10
電話 03-3753-8300